

魚沼民商だより

2019年
9月16日
第2169号

〒 946-0032

発行 魚沼民主商工会
新潟県魚沼市板木
電話 025 (792) 3064
e-mail: uminsyo@rose.on.ni.jp

参加者募集中!

新商連役員学習交流会

げんきな民商をつくろう!

日時 9月28日(土) 4時~

学習講演会

講師 浦野広明税理士

「納税者の権利と税務調査」飯

9月29日(日) 9時~

分科会、全体会

会場 割烹の宿 湖畔

業者婦人決起集会に向けて 国会議員要請行動します。

今回の業者婦人決起集会(9月26日)開催時には国会閉会中のため、県婦協では手分けをして事前に県選出の国会議員の地元事務所へ要請行動をおこないます。

魚沼民商婦人部は長岡民商婦人部と共に泉田裕彦衆議院議員(五区 自民党) 地元事務所へ「所得税法第56条廃止」と「消費税増税中止」の要請書を持って9月17日(火)に訪問します。業者婦人の苦しい状況と、10月からの消費税増税でさらに厳しくなる現状を訴えてきます。



「なくそテ原発」

柏崎大集会

9月1日に柏崎市文化会館アルフォーレで開催され県内外から1100人が集まりました。

経済学者の金子勝先生は「前日転んで肋骨を骨折してしまいました」と言いながらも立ったまま講演しました。金子先生は「2007年の中越沖地震の際、もくもくと煙を上げて放射能漏れを起こした6、7号機をどうして東電は再稼働させたいのか? それはこの2機の原発が減価償却が終わっていないので、廃炉にすると赤字になるからだ」と述べました。

「安全は最悪。政府は安全より経済が大事、安全を犠牲しているから経済は下がっている。電力会社を解体して再生可能エネルギーで地域分散ネットワーク型システムへの転換で新しい経済を作っていく必要がある」と講演しました。



第65回日本母親大会が 開催されました。

8月24、25日の両日、静岡市で開催された第65回日本母親大会に新婦協から10名、魚沼から石田美智子さん(建築業)と榎

本事務局の2名が猛暑の中、元気に参加してきました。初めて参加した榎本事務局は「一日目4600名、二日目は4400名のべ9000名の女性が集まったのにびっくりした。分科会は映画「ザ・思いやりII」在日米軍の為の思いやり予算の映画を観ました。日本に住むアメリカ人、リラン・バクレー監督が作ったドキュメンタリーでシリアスなのにコミカル! 私は思いやり予算ってなんだ? 一軒5500万円もする住宅や光熱費、家族への仕送りも税金が使われているという...この事を日本人はあまり知らないだろうし私も恥ずかしが映画を観るまで知らなかった。被災地の仮設住宅は238万円、アメリカではなく日本の国民のために使って欲しい。三沢基地がヨルダンやシリアや空爆の拠点になっていた。また米軍兵士に「爆弾が落としたりどうなる?」との質問に平然と「破壊、人は死ぬ」と答えていました。日本が抱えている問題はたくさんあって税金の使い方が変わることがあると思います。米軍には思いやりで保障しているってどうなんだろう? とつくづく感じさせられました。二日間、初めてのことがかり新鮮であり、緊張したり女性のパワーの凄さに圧倒されました。これからの婦人部活動に活かして行きたいと思います。」と話しています。

(代表発言した榎屋さん)



法律相談のお知らせ

日時 10月 16日 (水) 午後1時より
会場 民主商工会事務所
弁護士 土屋 俊幸 先生
(新潟合同法律事務所)
相談料 3,000円

※事前の予約制です。早めに事務所までご連絡ください。

会費の納入は今月中にお願いします。